

新機種紹介 広報部会

▶ <01> ブルドーザおよびスクレーパ

03-〈01〉-03	新キャタピラー三菱 ブルドーザ D6R SERIES II ほか	'03.07 発売 モデルチェンジ
------------	--	----------------------

高位置スプロケットデザインのブルドーザについて、生産性、操作性、メンテナンス性などの向上と環境対応を図ってモデルチェンジしたものである。エンジンの燃料噴射は電子制御によって完全燃焼を促進しており（D6R IIはHydraulic Electronic Unit InjectionやAir to Air After Coolerを採用）、日、米、欧の排出ガス対策（2次規制）基準値をクリアしている。トルクディバイダ付きトルクコンバータ・パワーシフトトランスミッション/ステアリングにも電子制御が採用されており、作業負荷条件に応じて前後進の速度段の組合わせが3種類設定できる3モードクイックシフト機能やオートダウンシフト機能が装備されている。ブレードやリッパ操作レバーには操作力を軽減する油圧パイロット式を採用し、誤操

表-1 D6R II ほかの主な仕様

	D6R II		D7R II	
	湿地車(LGP)	乾地車(XL)	湿地車(LGP)	乾地車(STD)
運転質量 (キャブ, エアコン付き) (t)	20.95	20.95	28.2	28.4
定格出力 (kW(PS)/min ⁻¹)	138(188) /2,000	138(188) /2,000	179(243) /2,100	179(243) /2,100
ブレード幅 ×同高さ (m)	3.995 ×1.1	3.26 ×1.41	4.45 ×1.345	3.665 ×1.525
ブレード最大 チルト量 (m)	0.385	0.745	0.720	0.810
リッパ最大 掘削深さ (m)	—	0.5	—	0.7
最高走行速度 F ₃ /R ₃ (km/h)	11.3/14.5	11.3/14.5	10.4/13.6	10.4/13.6
接地圧 (kPa)	31	65	45	86
最低地上高 (m)	0.435	0.385	0.485	0.410
全長×全幅 ×全高 (m)	5.7×3.995 ×3.225	6.5×3.26 ×3.19	6.01×4.45 ×3.435	7.13×3.665 ×3.36
価 格 (百万円)	27.56	—	—	41.55

- (注) (1) ディファレンシャルステアリング仕様を示す。各車にはステアリングクラッチ/ブレーキ仕様もあり、D6R II (LGP) にはダイレクトドライブ仕様が用意されている。
 (2) D6R IIは密閉加圧式ヘッドガードキャブを、D7R IIは密閉加圧式ROPSキャブを装着。
 (3) D6R II(XL), D7R II (STD) は、マルチジャンクリッパを標準装備。

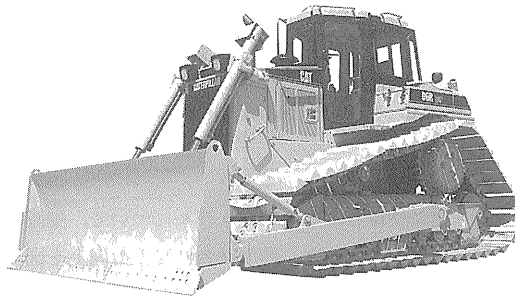


写真-1 CAT D6R SERIES II (LGP) ブルドーザ

作防止のために作業装置用ロックスイッチを設けている。スプロケットセグメントに耐摩耗・耐折損性の高い新材料（タフスチール）を採用、エンジンオイルおよびフィルタの交換間隔を500hに延長などにより、メンテナンス性を向上した。そのほか、稼働状況とシステムの状況がわかるモニタリングシステムを搭載している。

▶ <02> 掘削機械

03-〈02〉-12	日立建機 油圧ショベル・ドーザ ZX 165 D ほか	'03.07 発売 応用製品
------------	-----------------------------------	-------------------

バックホウ後方にブレード装置を装着してブルドーザ機能を付加したもので、本機1台で宅地造成などの作業を可能にするものである。ブレード両端は格納式で、格納時は車両全幅の寸法となり、バックホウ作業や輸送時に支障を来さないようになっている。ブレード装置は、パワーアングリングやパワーチルティング作動が可能で、フロート機能とともに仕上げ、地ならし作業を容易にしている。クローラシューの両端は折り曲げで丸みを持たせてあり、不整地での接地面を大きくして、より大きなけん引力が発揮できるよう

表-2 ZX 165 D ほかの主な仕様

	ZX 165 D	ZX 195 D
標準バケット容量 (m ³)	0.5	0.7
運転質量 (t)	16.8	19.7
定格出力 (kW(PS)/min ⁻¹)	63(85)/1,950	74(100)/1,950
最大掘削深さ×同半径 (m)	5.42×8.3	6.19×8.96
最大掘削高さ (m)	9.32	9.71
作業機最小旋回半径 /後端旋回半径 (m)	2.06/1.465	2.27/1.75
ブレード幅×同高さ (m)	3.25×0.8	3.43×1.0
アングル角度 (左右) (度)	25	25
チルト角度 (度)	7.5	7.5
走行速度 高速/低速 (km/h)	5.0/2.6	5.3/3.1
登坂能力 (度)	35	35
接地圧 (kPa)	46	52
全長×全幅×全高 (m)	8.49×2.59×2.945	9.43×2.59×2.94
価 格 (百万円)	37.4	42.7

- (注) (1) 最大掘削深さ、最大掘削高さにはシューラグ高さを含まず。
 (2) 全幅寸法は、ブレード両端を格納した状態。



写真-2 日立建機 ZX 165 D 油圧ショベル・ドーザ

新機種紹介

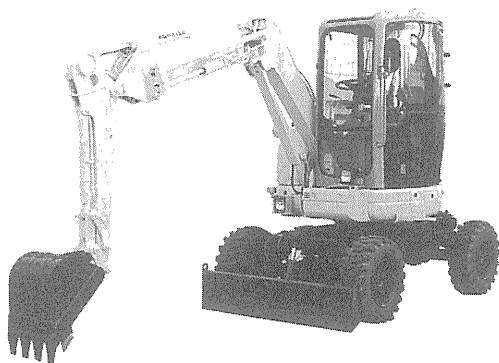
工夫してある。

03-(02)-12	コマツ ミニショベル (ホイール式) PW 40 UU ₋₁	'03.06 発売 応用製品
------------	---	-------------------

狭所作業や軽負荷作業において便利な、機動性のある機械として開発されたものである。3tクラスの超小旋回形・上部旋回体と3tクラスのホイール式走行体を組合わせたもので、4輪駆動による不整地走行、4輪ステアリングによる小回り走行、超小旋回作業機による狭所作業を可能にしている。エンジンは国土交通省の排出ガス対策基準値をクリアしており、キャブ付きを標準仕様としている。バケットによる一般掘削、側溝掘削作業などのほか、スライドアーム+平刃バケット (オプション仕様) 取付けによる製鉄所構内におけるベルトコンベヤ下の落鉱処理作業に最適車として使用される。

表—3 PW 40 UU₋₁の主な仕様

標準バケット容量	(m ³)	0.11
機械質量	(t)	4.35
定格出力	(kW(PS)/min ⁻¹)	20.6(28)/2,500
最大掘削深さ×同半径	(m)	3.045×5.055
最大掘削高さ	(m)	5.535
バケットオフセット量 左/右	(m)	0.82/0.52
作業機最小旋回半径 /後端旋回半径	(m)	1.49/0.87
最高走行速度	(km/h)	13.5
最小回転半径 (最外輪中心)	(m)	3.92
全長×全幅×全高	(m)	4.81×1.695×2.755
価 格	(百万円)	14



写真—3 コマツ PW 40 UU₋₁ ミニショベル

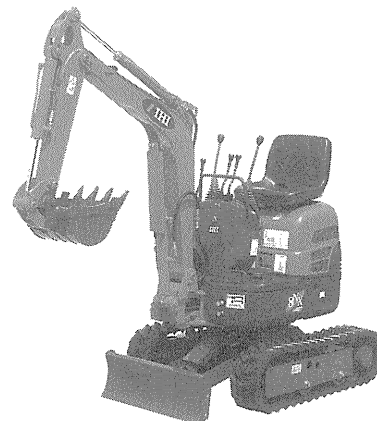
03-(02)-14	石川島建機 ミニショベル (後方超小旋回形) 8 NX	'03.05 発売 新機種
------------	-----------------------------------	------------------

狭所作業性、狭所進入性を重視して設計されたミニショベルである。クローラ全幅 (0.7~0.95 m) を変えられる拡縮機構を備えて

おり、狭所への進入性と作業時の安定性を確保している。バケットシリンダ油圧ホースはアームに内蔵し、ブーム背面の油圧ホースにはガードプレートを付けて損傷を防ぐとともに前方視界の向上を図った。ラジエータはアルミ製を採用し、燃料タンクには樹脂製を採用して、熱交換効率や耐食性の向上に配慮した。旋回360度のどの角度でも自動的にブレーキ作動が得られる旋回自動駐車ブレーキ装置を採用して、坂道での旋回ずり落ちの心配を無くし、また、手動での旋回ロックを不要にした。ゴムシューのラグは厚肉タイプとし、排土板はエッジ付きとした。

表—4 8 NXの主な仕様

標準バケット容量	(m ³)	0.022
機械質量	(t)	0.89
定格出力	(kW(PS)/min ⁻¹)	6.8(9.3)/2,400
最大掘削深さ×同半径	(m)	1.57×2.98
最大掘削高さ	(m)	2.755
バケットオフセット 左/右	(m)	0.57/0.47
最大掘削力 (バケット)	(kN)	10.5
作業機最小旋回半径/後端旋回半径	(m)	1.22/0.485
ブレード幅 (縮小~拡張)×同高さ	(m)	(0.7~0.95)×0.24
走行速度 高速/低速	(km/h)	3.5/1.7
登坂能力	(度)	30
接 地 圧	(kPa)	26.2
全長×全幅×全高 (輸送時)	(m)	2.7×0.72×1.405
価 格	(百万円)	3



写真—4 石川島建機「Super ナナ」8 NX ミニショベル (後方超小旋回形)

03-(02)-15	日立建機 ミニショベル (後方超小旋回形) ZX 30 U ほか	'03.07 発売 モデルチェンジ
------------	--	----------------------

都市土木作業に使用されるミニショベルについて、生産性、操作性、安全性、メンテナンス性、環境適合性などの向上を図ってモデルチェンジしたものである。エンジンは国土交通省の排出ガス対策 (2次規制) 基準値をクリアするものを搭載し、大形足回りの採用

新機種紹介

とともにけん引力の増大を図った。騒音対策においても国土交通省の低騒音型建設機械に指定されており（ZX 30 U, ZX 35 U は超低騒音型）、樹脂製部材の材料名表示や鉛レス電線の使用などとともに環境に配慮した。トラックフレームは外側への泥はけが良いう

に片流れ傾斜構造とし、アーム先端部には耐摩耗性の WC（タングステンカーバイド）溶射を施した。走行時の負荷に応じて高速・低速が切替わる自動変速システム、湿式多板式走行駐車ブレーキ、油圧パイロット式操作レバー、作業機、旋回、走行、ブレード、スイングの全操作をロックするロックレバー&旋回駐車ブレーキ、TOPS/FOPS 適合キャブなどの採用によって、操作性、安全性の向上を実現した。アルミ製ラジエータやオイルクーラの採用、エンジンオイル交換間隔 500 h、作動油交換間隔 2,000 h、作業機の給脂間隔 500 h への延長などでメンテナンス性を向上した。

表-5 ZX 30 U ほかの主な仕様

	ZX 30 U	ZX 35 U
標準バケット容量 (m ³)	0.09	0.11
機械質量 (t)	2.98(3.1)	3.4(3.52)
定格出力 (kW(PS)/min ⁻¹)	23.5(32)/2,450	23.5(32)/2,450
最大掘削深さ×同半径 (m)	2.85×4.95	3.15×5.21
最大掘削高さ (m)	4.72(4.4)	4.85(4.47)
バケットオフセット量 左/右 (m)	0.68/0.8(0.725)	0.68/0.8(0.725)
最大掘削力 (バケット) (kN)	27.5	27.5
作業機最小旋回半径 / 後端旋回半径 (m)	1.88(2.16)/0.775	1.99(2.36)/0.87
走行速度 高速/低速 (km/h)	4.4/2.8	4.4/2.8
登坂能力 (度)	30	30
接地圧 (kPa)	28(29)	31(33)
全長×全幅×全高 (m)	4.48×1.55×2.52(2.62)	4.69×1.74×2.52(2.62)
価格 (キャノピ仕様) (百万円)	6.9	7.7
	ZX 40 U	ZX 50 U
標準バケット容量 (m ³)	0.14	0.16
機械質量 (t)	4.13(4.25)	4.59(4.71)
定格出力 (kW(PS)/min ⁻¹)	30.5(41.5)/2,200	30.5(41.5)/2,200
最大掘削深さ×同半径 (m)	3.4×5.69	3.6×5.8
最大掘削高さ (m)	5.65(5.25)	5.64(5.15)
バケットオフセット量 左/右 (m)	0.8/0.8	0.8/0.8
最大掘削力 (バケット) (kN)	32.2	37.3
作業機最小旋回半径 / 後端旋回半径 (m)	2.03(2.34)/0.975	2.1(2.65)/1.0
走行速度 高速/低速 (km/h)	4.4/2.5	4.4/2.5
登坂能力 (度)	30	30
接地圧 (kPa)	24(24)	26(27)
全長×全幅×全高 (m)	5.33×2.0×2.57(2.67)	5.35×2.0×2.57(2.67)
価格 (キャノピ仕様) (百万円)	8.66	9.4

(注) 機械質量、接地圧などは、キャノピ仕様値〔キャブ仕様値〕の書式で示す。キャノピ仕様には別途 4 柱キャノピ仕様がある。

▶ <03> 積込機械

03-<03>-09	新キャタピラー三菱 ((米)キャタピラー社製) ホイールローダ CAT 988 G ほか	'03.04 発売 モデルチェンジ
------------	--	----------------------

砕石・鉱山、大形土木工事などで使用されているホイールローダについてのモデルチェンジで、生産性、操作性、居住性、安全性、サービス性、環境適合性などを向上している。燃料噴射を電子制御するエンジンを搭載し、988 G は排出ガス対策（2 次規制）基準値をクリアしている（992 G は 1 次規制をクリア）。ラジエータはアップタンクを削除した分割式コア構造で、冷却水の 2 パス方式で冷却

表-6 CAT 988 G ほかの主な仕様

	988 G	992 G
標準バケット容量 (V 型ロック) (m ³)	6.4	12.3
運転質量 (t)	49.8	95.45
定格出力 (kW(PS)/min ⁻¹)	354(481)/1,900	597(811)/1,750
ダンピングクリアランス ×同リーチ (m)	3.96×2.105	4.635×2.3
最高走行速度 (km/h)	F ₁ /R ₃ 38.7/22.3	F ₃ /R ₃ 20.2/22.7
最小回転半径 (最外側) (m)	8.75	11.0
登坂能力 (度)	25	25
軸距×輪距 (前後輪とも) (m)	4.55×2.59	5.89×3.3
最低地上高 (m)	0.58	0.69
タイヤサイズ (—)	35/65-33 36 PR(L 4)	45/65-45 46 PR(L 5)
全長×全幅×全高 (m)	12.525×3.8×4.155	15.59×4.825×5.59
価格 (百万円)	76.5	172.0



写真-5 日立建機 ZX 30 U ミニショベル (後方超小旋回形)



写真-6 CAT 988 G ホイールローダ

新機種紹介

効率を高めている。冷却ファンとエンジンルームは隔壁で分離し、ファン回転速度は電子制御される。1本ブーム、フロントフレームのコンパクト化などで軽量化を達成し、ホイールベースの延長、アーティキュレート角拡大(43度)などで作業安定性と旋回性を確保した。左ペダルの踏み代でけん引力を100~20%まで連続的に調整できるインペラクラッチトルクコンバータ・自動トランスミッションを搭載し、ショックの少ないスムーズなシフトを可能にしている。前後進、変速、操向の操作を1本のレバーに集約したSTIC(Steering and Transmission Integrated Control System)、セットした任意の回転数までエンジンを自動的にコントロールするスロットルロックスイッチなど操作性を向上している。密閉加圧式ROPSキャブでは騒音、振動の低減を実現しており、運転者耳元騒音は77dB(A)(988G)、75dB(A)(992G)である。積込み能力は、988GとダンプトラックCAT775Dで5~6杯積み、992GとダンプトラックCAT777Dで4杯積みである。



写真-7 コマツ「GALEO」WA320_sホイールローダ

03-〈03〉-10	コマツ ホイールローダ WA320 _s ほか	'03.07 発売 モデルチェンジ
------------	--------------------------------------	----------------------

生産性と経済性の両立を目標に設計されたHST駆動、稼働情報管理機能(KOMTRAX)搭載のホイールローダである。エンジンは日・米の排出ガス対策(2次規制)基準値をクリアするものを搭載し、エンジンルームの遮断、冷却ファンの油圧駆動、エキゾーストパイプのマフラ直付けなどの対策により、国土交通省の低騒音型にも適合する。4段階の最高車速を選択可能にした電子制御のシフトコントロールシステム(ダイヤルスイッチ式)、1速時の最高車速を多段階(4~13km/h)で設定できるバリエーションシフトコントロールシステム(ダイヤルスイッチ式)、けん引力を2段階に調節

するトラクションコントロールシステム(スイッチ式)を備え、さらに、6度以下の通常の勾配を下る際に車速を42km/h以下に制限するオーバランコントロールシステムを採用して、効率的、低燃費、安全な運転を実現した。無駄のない積込みを可能にするメインモータ内蔵のロードメータの設定(WA270_sはオプション)、走行時の振動を抑制する車速感応式走行ダンパの搭載、フィンガタッチの作業機レバーと電気式前後進レバーの採用、運転者耳元騒音が70dB(A)の静かでワイドな密閉加圧式ROPS/FOPSキャブの搭載など操作性、居住性を向上した。また、冷却ファン装置はスイング開閉式で、ラジエータ、空冷アフタクーラ、オイルクーラは横一列配置として清掃や点検を容易にしている。

▶ 〈09〉 骨材生産機械

03-〈09〉-03	加藤製作所 (英)エクステックスクリーンズ &クラッシュヤズ社製 生産破砕機 3600Sほか	'03.04 発売 輸入新機種
------------	---	--------------------

原石や解体コンクリートなどの破砕に使用される破砕機4機種である。3600Sは低速高トルクの2軸せん断機を搭載し、鉄筋入りコンクリートや木材、古タイヤなど混合の建設解体廃棄物処理を可能にする。反転使用のできるシュレツダ歯は一体構造で、刃先が脱落するような心配がない。また、過負荷感知時の自動逆回転装置や過負荷防止装置により機械に無理がかからないようになっている。C-10、C-12は原石破砕、鉄筋入りコンクリート破砕などに対応するもので、搭載するジョークラッシャの開口調整は、ケーブルリモコンによる油圧シリンダ調整式である。過負荷防止装置、逆回転機能、振動グリズリ供給速度自動調整機構などを備えて、スムーズな運転を確保している。ジョーのプレート(歯)は、上下反転させて使用することができる。C-12にはインパクトクラッシャ搭載形があり、碎石の大量生産やアスファルト・リサイクリングに使用される。いずれの破砕機においても、磁選機、散水装置などがオプションで用意されている。エンジンは国土交通省の排出ガス対策基準値に適合しており、環境に配慮している。

表-7 WA270_sほかの主な仕様

	WA270 _s	WA320 _s
標準バケット容量 (m ³)	2.5	3.0
運転質量 (t)	11.16	13.57
定格出力 (kW(PS)/min ⁻¹)	101(137)/2,000	124(168)/2,000
ダンピングクリアランス ×同リーチ (m)	2.755×1.14	2.735×1.15
最大掘起力 (バケットシリンダ) (kN)	104	113
最大けん引力 (kN)	98	120
最高走行速度 F ₁ /R ₁ (km/h)	38/38	38/38
最小回転半径(最外輪中心) (m)	4.95	5.16
登坂能力 (度)	25	25
軸距×輪距(前後輪とも) (m)	2.9×1.93	3.03×2.05
最高地上高 (m)	0.465	0.425
タイヤサイズ (—)	20.5-25-12 PR	20.5-25-12 PR
全長×全幅×全高 (m)	7.16×2.685×3.2	7.62×2.685×3.2
価格 (百万円)	19.2	22.6

(注) (1) ダンピングクリアランス×同リーチ仕様値は、バケット45°前傾BOC先端までの数値とする。

(2) 走行速度F₁/R₁は0~4.0km/hであるが、4.0~13.0km/hの範囲で調整可能。

新機種紹介

表-8 3600 S ほかの主な仕様

	3600 S	C-10
	2軸せん断機 (ホイール・被けん引式)	ジョークラッシャ (クローラ・自走式)
処理能力 (t/h)	混合物 100~250(m³/h)	140~170
機械質量 (t)	38	30.75
定格出力(kW(PS)/min ⁻¹)	317(430)/2,000	166(225)/2,000
破碎機開口寸法 (m)	2.0×1.5	1.0×0.67
出口開きセット量 (最小) (mm)	—	25
ホッパ容量 (m³)	3.03	2.4
ホッパ幅/同上縁高さ (m)	4.35/3.98	3.01/3.61
排出ベルトコンベヤ幅/同排出高さ (m)	1.0/3.47	0.8/メイン2.94
走行速度 (km/h)	—	1.0
全長×全幅×全高 (作業時) (m)	14.535×2.745 ×3.98	11.79×3.85 ×3.61
全長×全幅×全高 (輸送時) (m)	12.085×2.745 ×4.0	11.715×2.635 ×3.27
価 格 (百万円)	84	67.65
	C-12	
	ジョークラッシャ (クローラ・自走式)	インパクトクラッシャ (クローラ・自走式)
処理能力 (t/h)	170~200	150~220
機械質量 (t)	50	50
定格出力(kW(PS)/min ⁻¹)	273(371)/1,900	273(371)/1,900
破碎機開口寸法 (m)	1.2×0.75	1.29×0.95
出口開きセット量 (最小) (mm)	35	—
ホッパ容量 (m³)	5.3	2.8
ホッパ幅/同上縁高さ (m)	3.62/4.065	3.89/4.065
排出ベルトコンベヤ幅/同排出高さ (m)	1.0/メイン3.32	1.0/メイン3.32
走行速度 (km/h)	1.0	1.0
全長×全幅×全高 (作業時) (m)	14.115×4.11 ×4.065	14.115×4.11 ×4.065
全長×全幅×全高 (輸送時) (m)	14.475×2.81 ×3.695	14.475×2.81 ×3.695
価 格 (百万円)	89.5	89.5

(注) (1) 処理能力は、投入する破碎物の種類、形状および作業条件により異なる。

(2) ホッパ幅は積込み方向の寸法を示す。

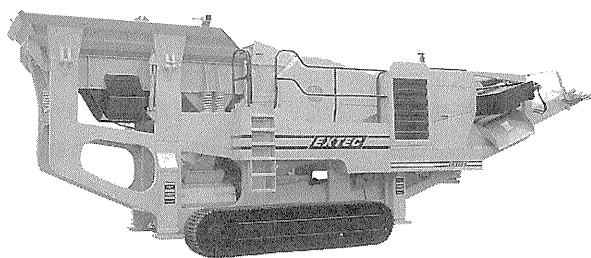


写真-8 加藤製作所 C-10 生産破碎機 (ジョークラッシャ・自走式)

03-〈09〉-04	加藤製作所 ((英) エクステックスクリーンズ & クラッシュズ社製) 選別機 S-5 ほか	'03.04 発売 輸入新機種
------------	---	--------------------

碎石や建設廃材破碎後の選別機として使用される4機種で、いず

れも国土交通省の排出ガス対策基準値をクリアするエンジンを搭載している。S-5は2段デッキスクリーンボックスを直列に2連結した振動ふるい機で、投入塊の種類や粘度に応じてボックス角度を前後別々に変えることが可能であり、メッシュへの突込み角度や通過速度を調整して選別精度を上げることができる。第1スクリーン上下段通過分、第2スクリーンの上下段通過分と上段通過・下段不通過分、第1・第2スクリーン不通過分の4分類選別が可能である。ロボトラックは2分類選別の2段デッキ振動グリッド構造で、グリッド・バーと選別メッシュの組合わせで木材チップの選別まで可能である。大容量ホッパ設計で、排出コンベヤとホッパコンベヤは独立しているため、他の選別機と連結組合わせても排出スピードの調整が可能である。4400はロボトラックと同等能力を有する2分類選別の振動選別機で、走行クローラ装置、ホッパコンベヤおよび排出コンベヤを省略したシンプル設計である。トロンメルは3または4分類選別の回転ふるい機で、選別ドラムの回転はピニオンギヤ直接駆動方式としており、ドラムには2種類(前後)の選別メッシュの装着が可能である。ドラムはまた、可変角度機構付きで、選別精度アップや処理量調整ができるようになっている。さらにドラム駆動油圧で負荷状態が自動検知できるようになっており、供給塊のホッパ投入停止や自動復帰が行われる保護機構が採用されている。

表-9 S-5 ほかの主な仕様

	S-5 (クローラ・自走式)	ロボトラック (クローラ・自走式)
処理能力 (t/h)	~800	180~350
機械質量 (t)	33.5	21.6
定格出力(kW(PS)/min ⁻¹)	72(98)/2,200	72(98)/2,200
ホッパ幅/同上縁高さ (m)	3.625/3.655	4.485/3.2
スクリーン幅×長 (m)	1.524×2.439×2個	2.32×3.2
排出コンベヤ幅/同排出高さ (m)	テールコンベヤ 1.2/4.615	メインコンベヤ 1.0/3.22
走行速度 (km/h)	1.0	1.0
全長×全幅×全高 (作業時) (m)	17.835×17.055 ×6.165	11.47×2.7 ×3.55
全長×全幅×全高 (輸送時) (m)	14.785×2.59 ×3.995	8.545×2.7 ×3.2
価 格 (百万円)	53.5	38.5
	4400 (ホイール・被けん引式)	トロンメル (ホイール・被けん引式)
処理能力 (t/h)	180~350	~180 (m³/h)
機械質量 (t)	11.3	27.8
定格出力(kW(PS)/min ⁻¹)	35(46)/2,000	72(98)/2,200
ホッパ幅/同上縁高さ (m)	3.785/2.83	5.935/4.255
スクリーン幅×長 (m)	3.115×2.515	ドラム φ2.4×9.0
排出コンベヤ幅/同排出高さ (m)	—	テールコンベヤ 1.2/3.01
走行速度 (km/h)	—	—
全長×全幅×全高 (作業時) (m)	6.745×2.515 ×2.995	18.72×7.48 ×4.42
全長×全幅×全高 (輸送時) (m)	6.745×2.515 ×3.24	13.665×2.655 ×4.255
価 格 (百万円)	23.0	57.6/62.3

(注) (1) 処理能力は供給塊の種類、形状、含水比などにより異なる。

(2) ホッパ幅は、積込み方向の寸法を示す。

(3) トロンメル価格は、2選タイプ/3選タイプを示す。

新機種紹介



写真-9 加藤製作所 S-5 選別機

▶ <11> コンクリート機械

03-<11>-01	いすゞ自動車 トラックミキサ KL-CXZ 51 K 4 ほか	'03.06 発売 モデルチェンジ
------------	---------------------------------------	----------------------

低燃費と環境対応を図ったインタークーラーボエンジンを搭載したトラックミキサで、平成 11 年排出ガス規制、平成 13 年騒音規制、平成 15 年 9 月から取付け義務化されるスピードリミッタ（最高速度 90 km/h、速度抑制装置）、平成 16 年排出ガス規制（PM 規制）などの法規制に適合して安全性を向上したものである。パワー

表-10 KL-CXZ 51 K 4 ほかの主な仕様

	KL-CXZ 51 K 4	
	6×4・272 kW	6×4・243 kW
ドラム容量 /最大混合容量 (m ³)	8.9/4.5	8.9/4.5
最大積載量 (t)	9.87	9.94
車両総重量 (t)	19.96	19.95
最高出力 (kW(PS)/rpm)	272(370)/1,750	243(330)/1,750
ドラム生コン積載量 (t)	9.75	9.74
ホップエンド高さ (m)	3.48	3.48
水タンク容量 (L)	120	200
最高速度 (km/h)	90	90
最小回転半径 (m)	6.6	6.6
軸距×輪距 (前/後)(m)	4.535×(2.065/1.85)	4.535×(2.065/1.85)
タイヤ寸法 (全輪) (—)	11 R 22.5-14 PR	11 R 22.5-14 PR
乗車定員 (人)	2	2
全長×全幅×全高 (m)	7.925×2.49×3.73	7.925×2.49×3.73
価格 (百万円)	見積	見積

	KL-CXM 51 K 4		KL-CYZ 51 P 4
	6×2・272 kW	6×2・243 kW	6×4・272 kW
ドラム容量 /最大混合容量 (m ³)	8.9/4.5	8.9/4.5	10.2/5.2
最大積載量 (t)	10.14	10.22	11.46
車両総重量 (t)	19.945	19.94	21.98
最高出力 (kW(PS)/rpm)	272(370) /1,750	243(330) /1,750	272(370) /1,750
ドラム生コン積載量 (t)	9.94	10.02	11.26
ホップエンド高さ (m)	3.4	3.4	3.51
水タンク容量 (L)	200	200	200
最高速度 (km/h)	90	90	90
最小回転半径 (m)	6.4	6.4	7.8
軸距×輪距 (前/後) (m)	4.635 ×(2.065/1.85)	4.635 ×(2.065/1.85)	5.52 ×(2.065/1.85)
タイヤ寸法 (全輪) (—)	11 R 22.5- 14 PR	11 R 22.5- 14 PR	11 R 22.5- 16 PR
乗車定員 (人)	2	2	2
全長×全幅×全高 (m)	8.06×2.49 ×3.65	8.06×2.49 ×3.65	9.205×2.49 ×3.76
価格 (百万円)	見積	見積	見積

(注) (1) 架装メーカー K 社の仕様を例として示す。

(2) キャブ標準仕様を示す。



写真-10 いすゞ自動車「GIGA 20」KL-CXZ 51 K 4 (6×4・272 kW) トラックミキサ

ステアリングポンプには可変容量型を採用して消費馬力を約 60% 低減し、サスペンションやブレーキなどで使用するエアの量を一括制御して、効率的に最適のエア圧で各部に振り分けるようにした。また、ブレーキフルードを必要としないフルエアウェッジブレーキを採用して構造を簡素化し、少ないエア消費で素早い制動力の立ち上がりを実現した。車両総重量により 20 t 級と 22 t 級の車種があり、ミキサドラム容量はそれぞれ 8.9 m³ と 10.2 m³ である。